

令和 8 年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

和庄中学校区 校番13 学校名 呉市立和庄小学校

a 学校教育目標	夢を持ち 自ら学ぶ ～人を大事に ねばり強く～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 確かな力と社会性を身に付け、地域を愛し、未来を創造しようとする児童生徒の育成 〈ビジョン〉(将来の学校像) 9年間を通して、夢を持ち自ら学ぶ児童・生徒を育成することにより、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校
----------	----------------------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	現状 ○小中一貫教育の推進により、中学校区の共通経営理念に基づいた研究・教育活動が行われている。 ●基礎学力、活用力の定着に課題があり、個人差・学年差が大きい。 ●目的や場面に応じて自分の考えを表現することが難しい。 (今年度の重点) ①主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の推進。 (思考を働かせ、根拠をもとに表現する授業づくり・・・「対話」と「振り返り」の重視、ICTの効果的な活用) ②防災教育の深化に向けた、地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践。 ③和庄中学校区スピリットに基づく9年間を見通した組織的な生徒指導。 ④健康増進・体力の向上に向けた、家庭連携による基本的な生活習慣の定着。(早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール)
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・粘り強さ
-------------	----------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1 2 3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
確かな学力	学力の向上	主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・判断力の育成	・【国語:予想・一人読み記号等記入学習】国語科(文学的文章)で、内容のまとまりごとに予想をして関心をもたせ、必要箇所記号や線を記して確かな一人読みを行う等する。そして、内容から問いをもち、課題設定をする中で、学習を深めていく。	・「国語の授業がよくわかる」について肯定的回答をする児童の割合	90%						
			◎【対話・理由付け】和庄中学校区授業モデルに基づき、ペアやグループ等での対話を仕組むとともに、自律的な対話で学習を深めることができる工夫をする。(理由付けを大切にします。)	・理由をつけて自分の考えを話す児童の割合	80%						
			・【イメージ・既習・経験とつなぐ】各教科で言葉とイメージ、既習事項や生活経験等をつなげ、新しい知識・価値を創り出したり、学習内容の定着を図ったりする取組を行う。	・国語、算数の単元末テストの平均通過率	80%						
			・【防災教育】生活科・総合的な学習の時間と他教科の関連を図りながら、カリキュラムマップに基づきながら防災教育の充実を図る。	・「全国学力・学習状況調査」において全国平均値との差	国語+2.0 算数+2.0						
豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成	自分の命は自分で守る児童の育成	◎【災害携帯マニュアル】土砂災害・地震津波携帯マニュアルの記載と、自分の避難に関する児童理解を連動させて適切な避難につなげる。	・自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童の割合	100%						
			◎【DOHM:自己肯定・効力感】自分を、そして友達を大事にし合っている姿(DOHM)を、日々の授業、「なごみ賞」、「児童会DOHM取組」で評価する。	・災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合	100%						
豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成	粘り強くやり抜く児童の育成	◎【キュビナ】キュビナの効果的な活用となるよう取組を工夫する。	・キュビナで解いた問題数2200問(5月から一月あたり200問)	90%						
			・【自主学習】目標を立て、自主学習(調べ学習・デジタル新聞学習等)を継続して行うことができるよう取組を工夫する。	・自主学習に取り組んでいることについて肯定的に回答する児童の割合	90%						
健康やかな体	健康促進・体力の向上	基本的な生活習慣の確立	◎【体育科授業改善】体育科の授業改善・充実を図る。授業始めの5分間運動の充実を図る。コーディネーション運動を取り入れる。・【くれチャレンジマッチS】「くれチャレンジマッチスタジアム」への参加	・自己効力感(努力すれば自分もたいてのことはできると思う)に関する児童の肯定的回答の割合	95%						
			◎【元気っ子週間】「元気っ子週間(早寝・早起き・朝ごはん+メディアコントロール)を実施し、望ましい生活リズムの定着を図る。	・自己肯定感(自分にはよいところがある)に関する児童の肯定的回答の割合	95%						
働き方改革	教職員の主体性・積極性が発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	◎【教科担任制実施・日課等の工夫】教員の得意分野を生かした教科担任制の実施、日課の工夫等を行う。また、設定退校時間での退校を推進する。	・日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合	90%						
			◎【元気っ子週間】「元気っ子週間(早寝・早起き・朝ごはん+メディアコントロール)を実施し、望ましい生活リズムの定着を図る。	・勤務時間外在校時間が月45時間を超えない教職員の割合	90%						
いじめ防止	安全・安心な学校風土の醸成	いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりの推進	・【共感・迅速適切対応・見守り指導等継続】児童の悲しみ・つらさ等を共感的に受け止め、迅速かつ適切に対応し、継続的な見守り・指導等をする。	・①児童の心情を共感的に受け止めること、②問題行動事案に迅速・適切に対応すること、③問題改善への継続的な見守り・指導等を行うことに関し肯定的回答をする教職員の割合	90%						
			◎【いじめを許さない取組】DOHMに関する取組、いじめ撲滅キャンペーン期間に、児童自らいじめを許さないという視点に立った取組について考え実施する。	・いじめを許さないことに関して肯定的回答をする児童の割合	100%						

【k:評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60